世界が進むチカラになる。

MUFG

成長を生み出すMUFGのチカラ

PART1
―MUFGの”いま”と”これから”

2026年10月

三菱UFJフィナンシャル・グループ

本資料には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポートをご参照下さい。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の計数は日本会計基準ベースの数値（本邦の管理会計基準を含む）を使用しています。

目次

なぜMUFGなのか？ 4

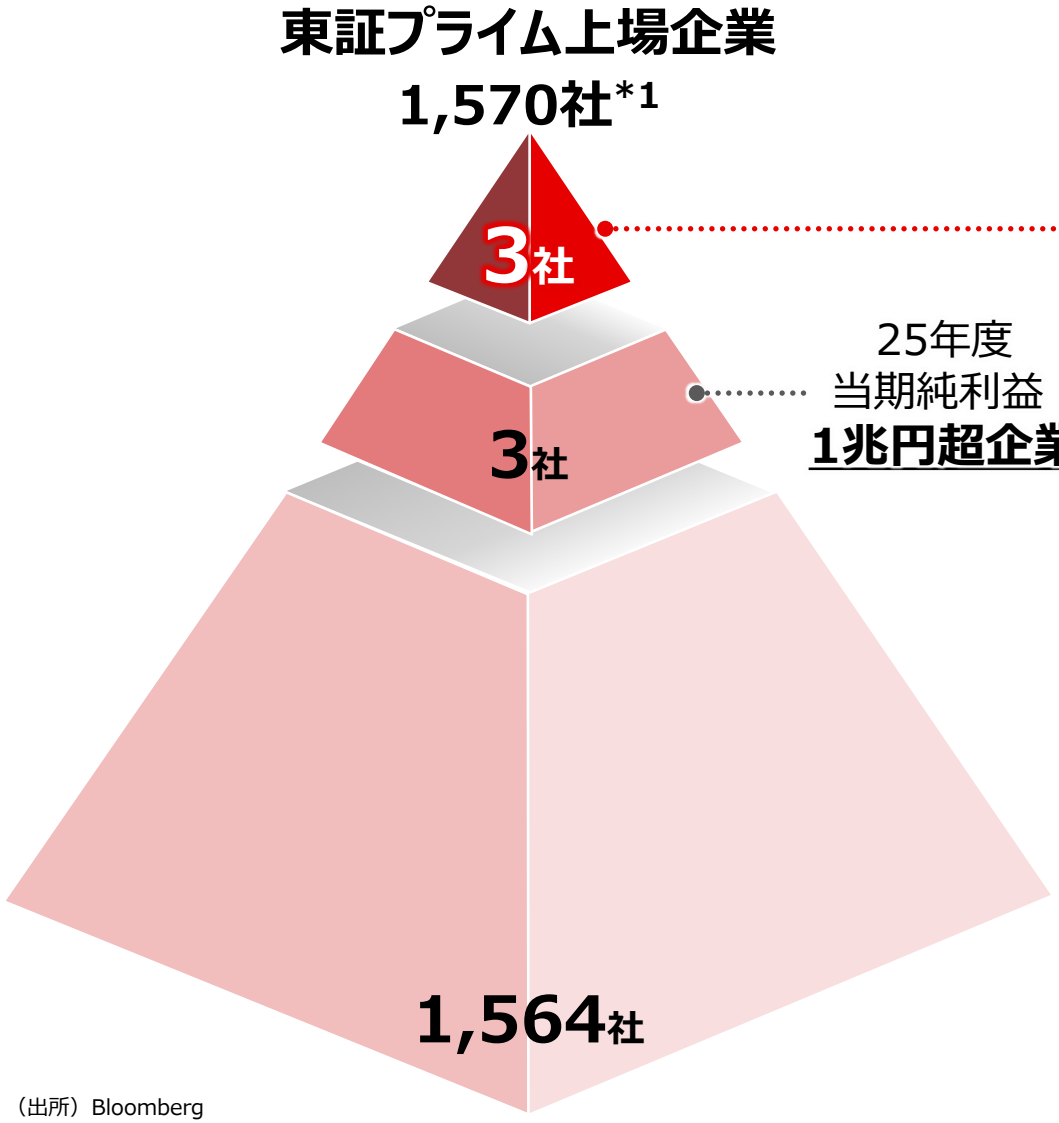
MUFGのチカラ 13

Part1のまとめ 26

なぜ、MUFGなのか?

2兆円突破

なぜ、MUFGなのか? –親会社株主純利益2兆円を超える企業



親会社株主純利益

2兆円超企業

Top 3

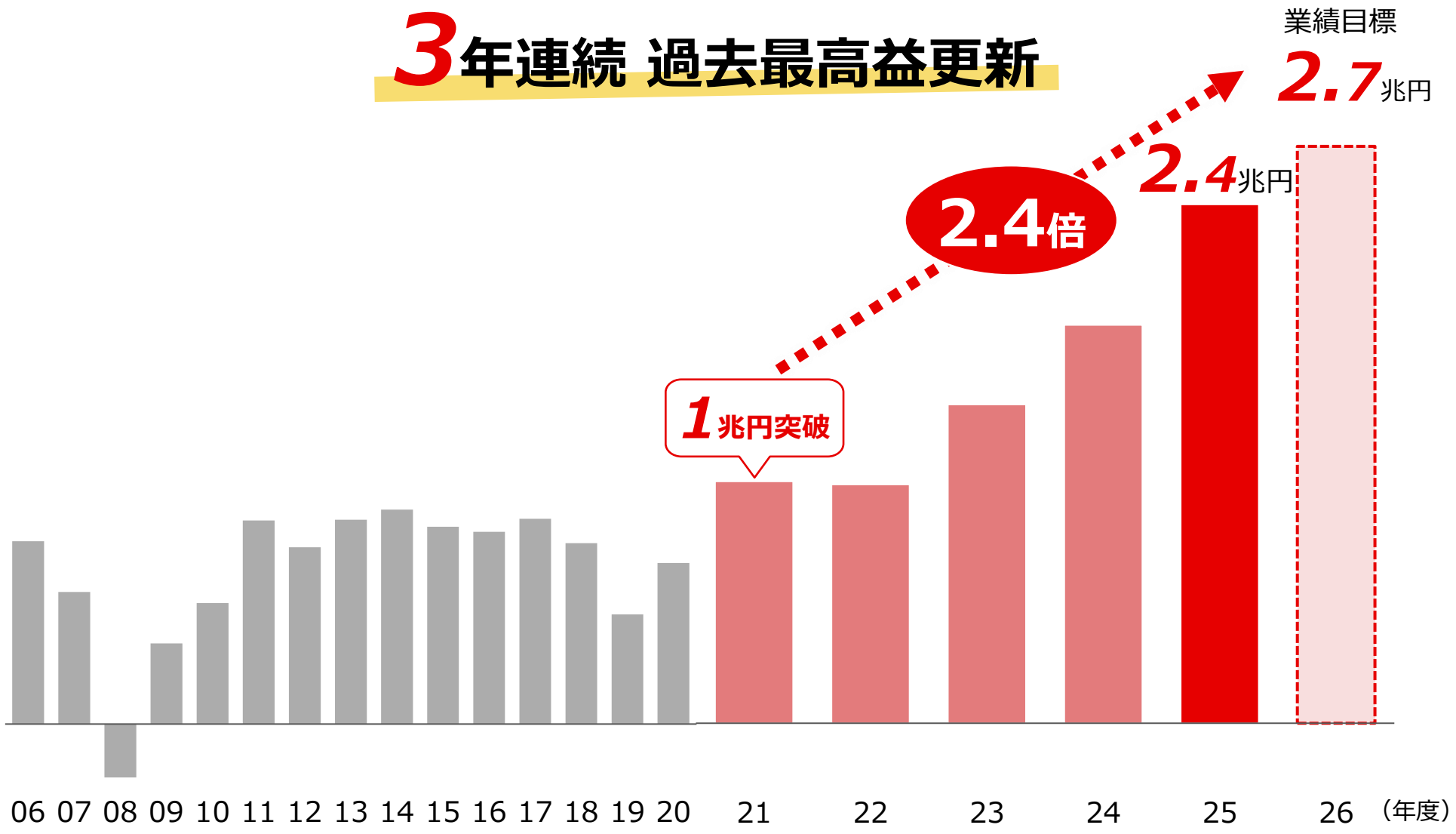
MUFG

（出所）Bloomberg

*1　2026年3月末時点の東証プライム上場企業数

なぜ、MUFGなのか? –親会社株主純利益

連結



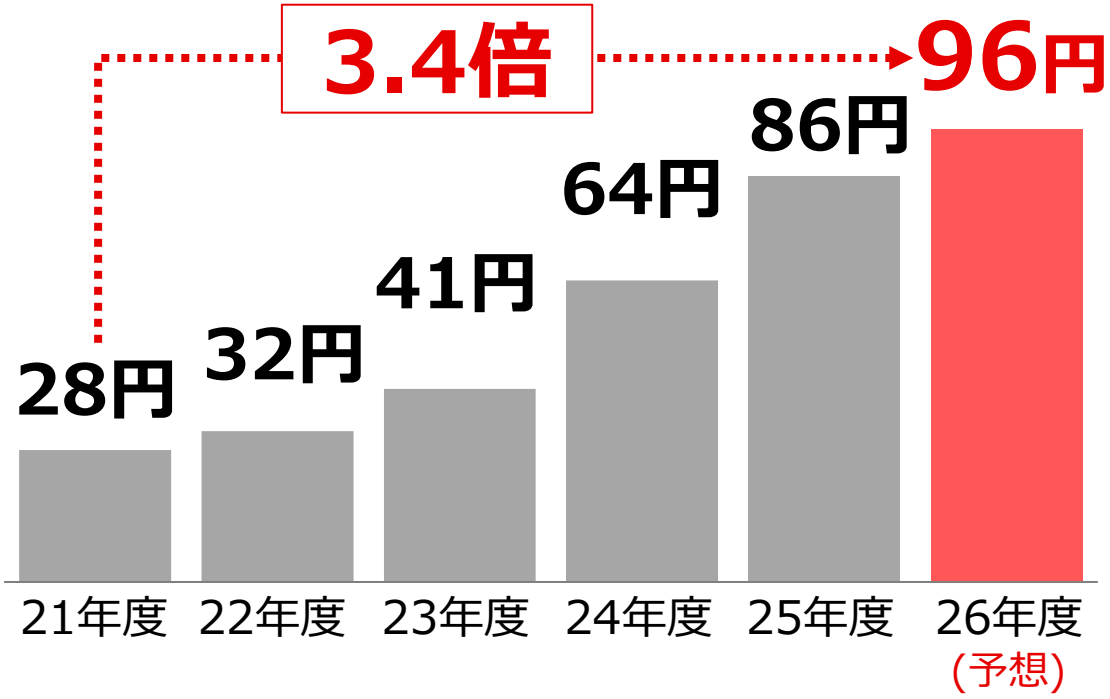
なぜ、MUFGなのか? –企業価値向上のしくみ



なぜ、MUFGなのか? –株主への還元の実績

一株当たり配当

累進的な配当



26年度

増配予想

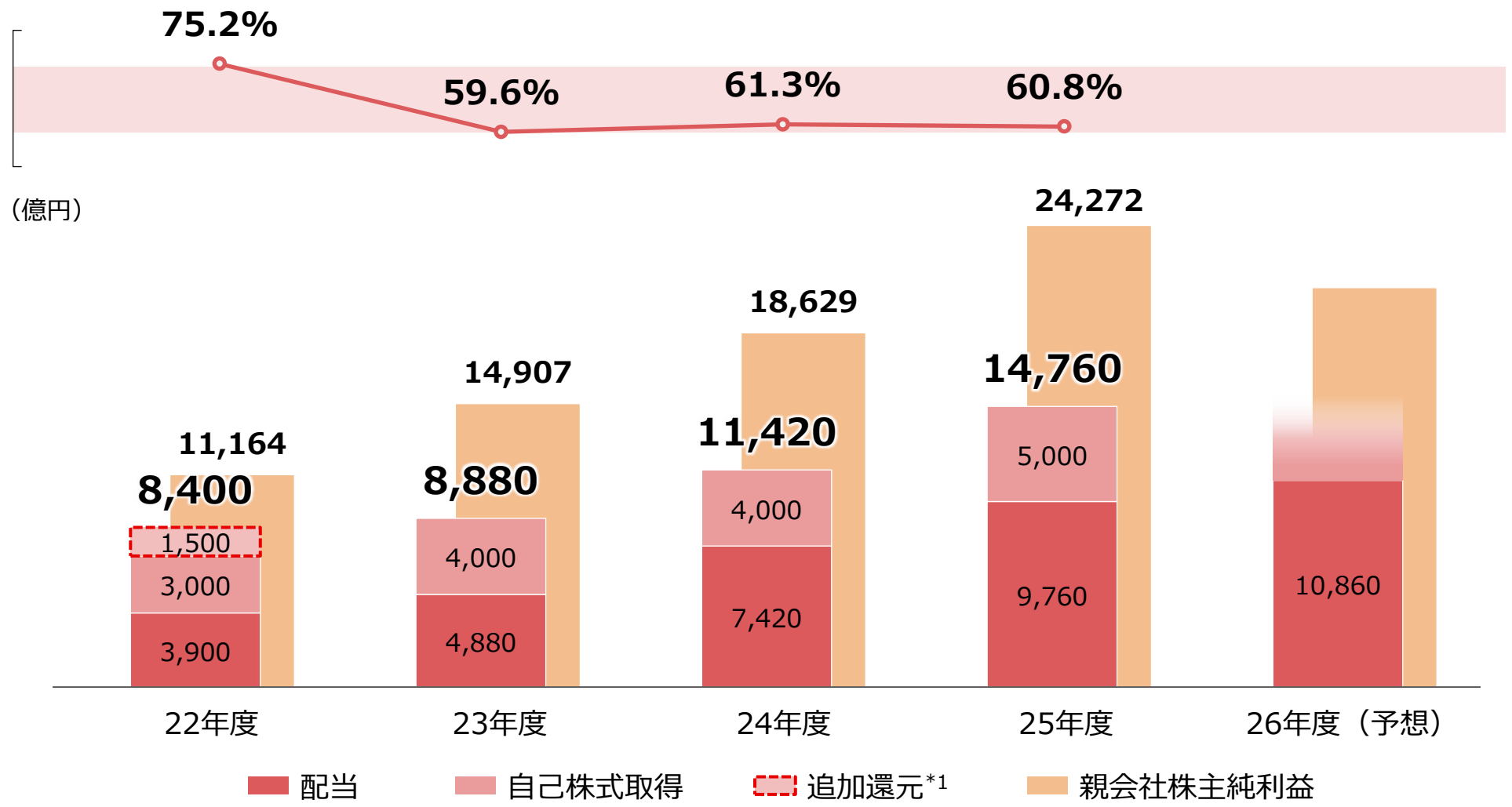
＋10円

自己株式取得

1,000億円
(上期)

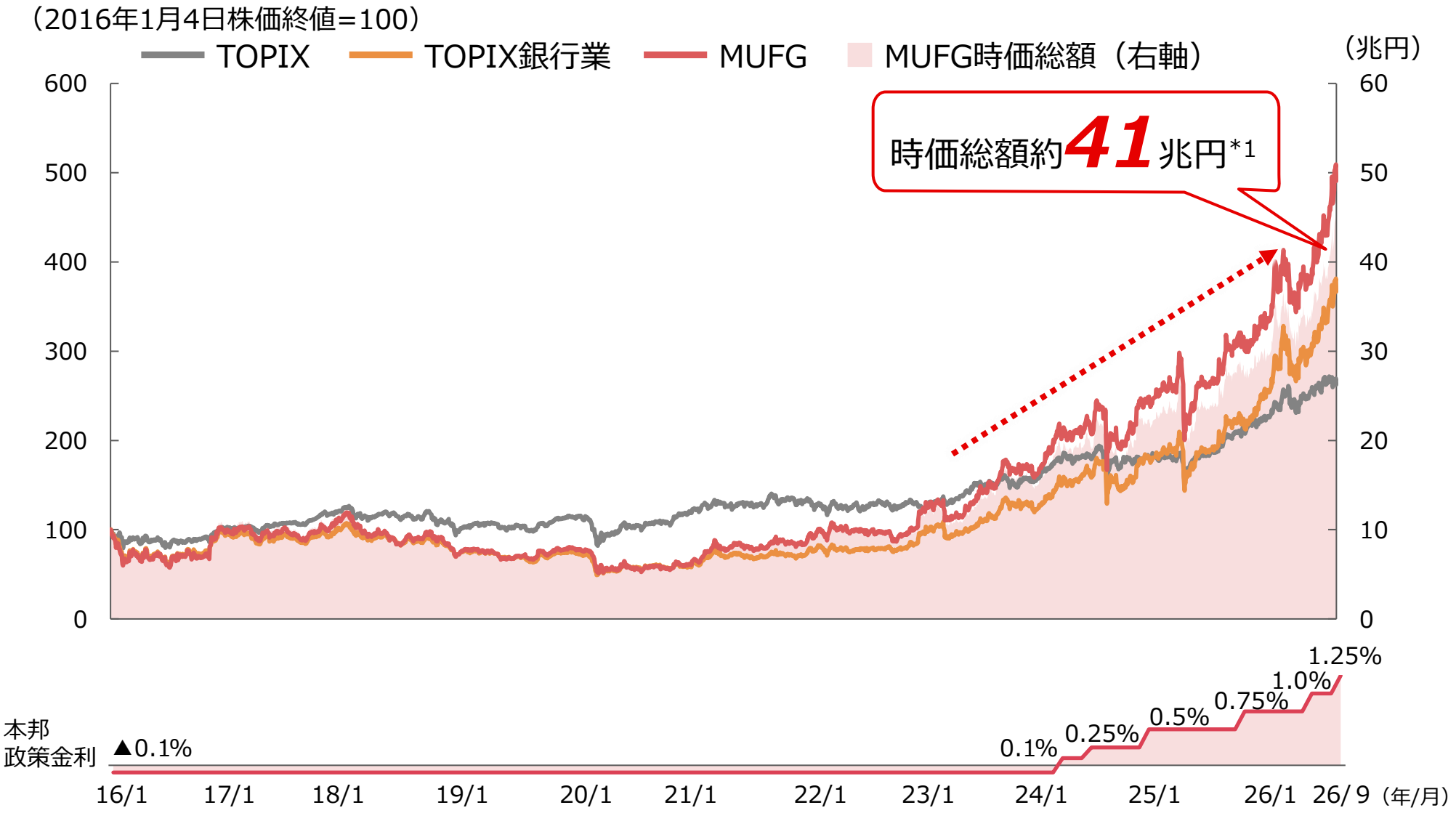
なぜ、MUFGなのか? –株主への還元の実績

総還元額と総還元性向の推移



*1 MUFGユニオンバンク売却に伴う解放資本の一部を自己株式取得に充当

なぜ、MUFGなのか? –マイナス金利解除前後の株価推移

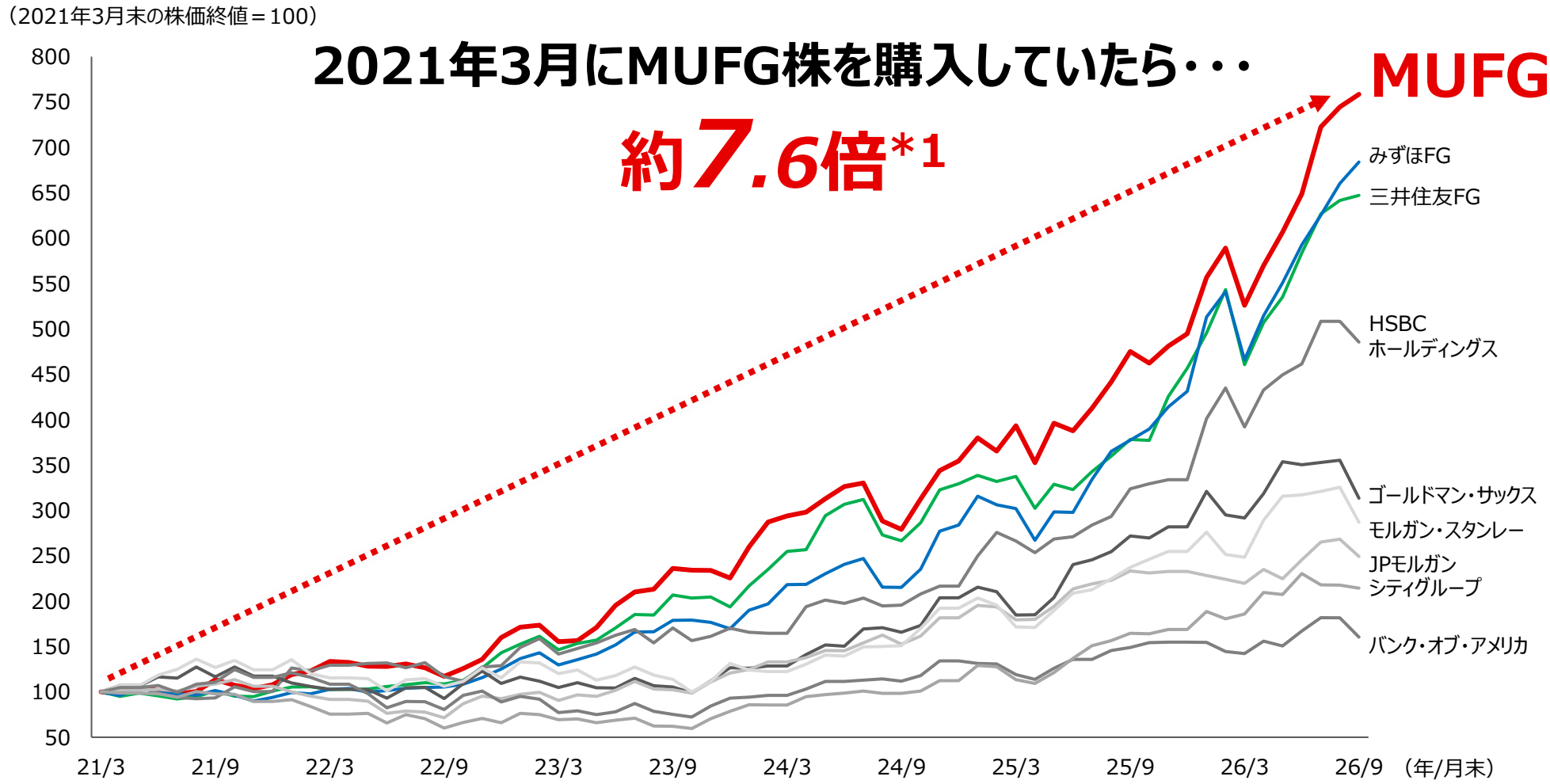


（出所）Bloomberg

*1 2026年9月末時点（自己株式を除く）

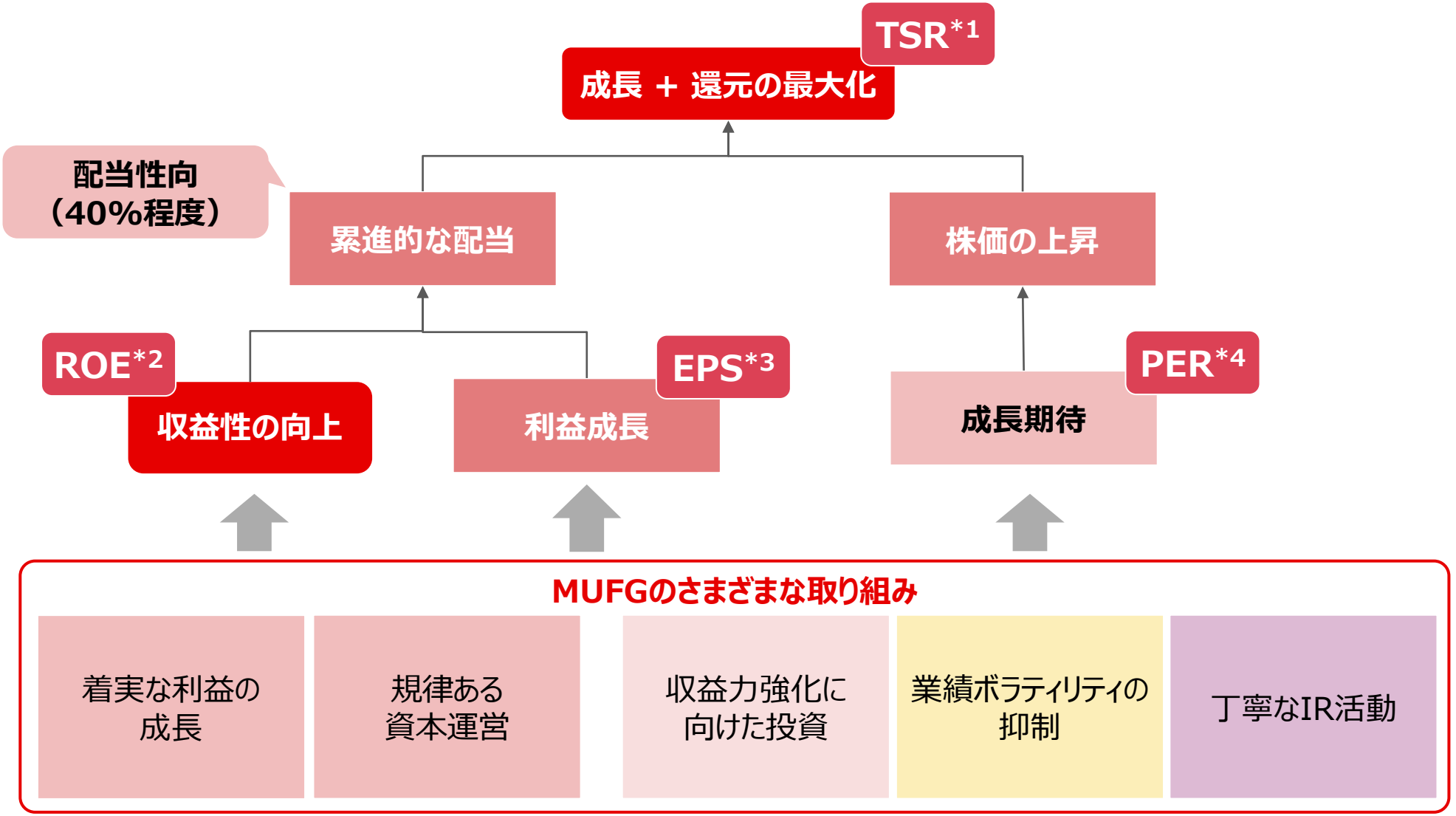
なぜ、MUFGなのか? –成長 + 還元の推移

TSR（Total Shareholder Return）： 株主総利回り = 株価上昇率+配当利回り



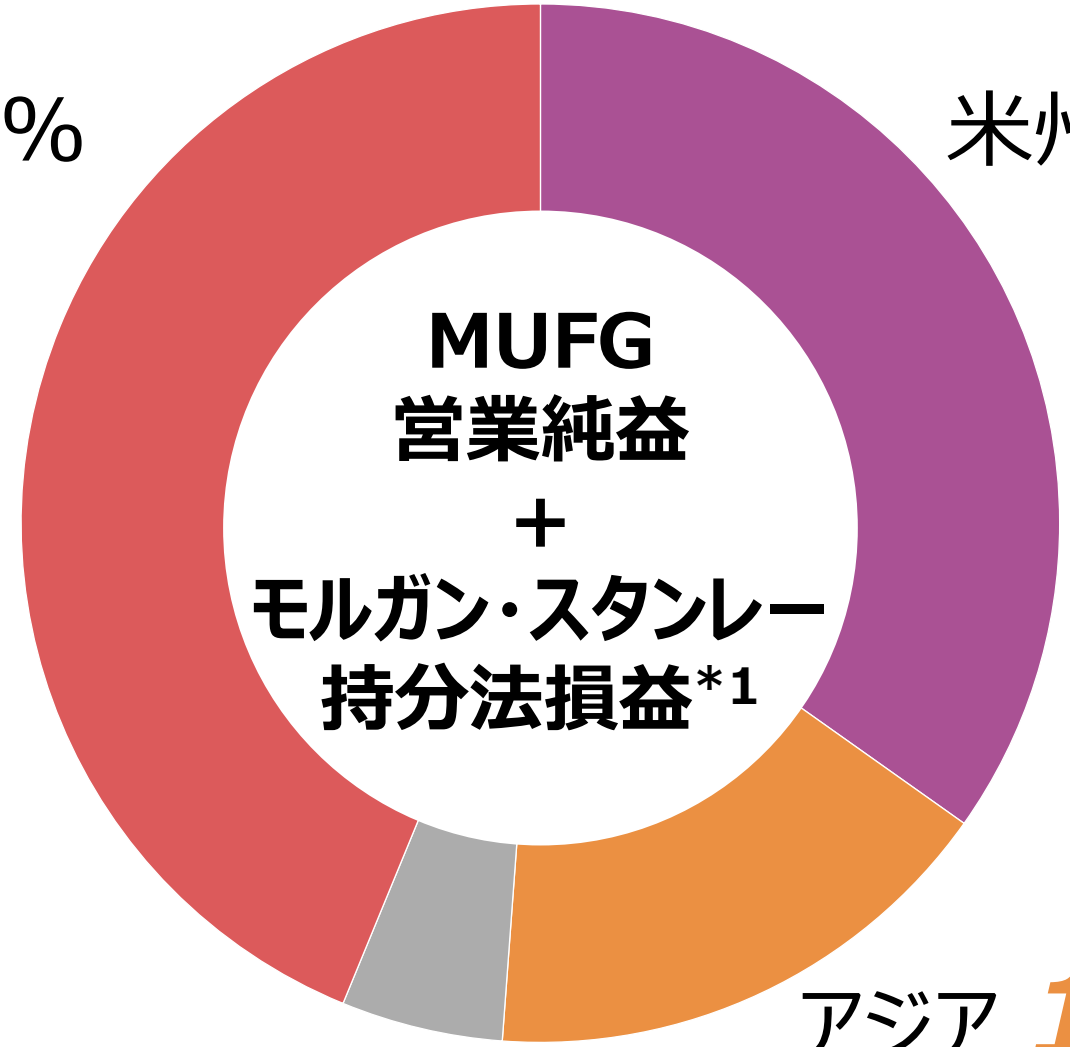
*1 2026年9月末時点（出所）Bloomberg

なぜ、MUFGなのか? –株主価値向上の仕組み



*1 TSR (Total Shareholder Return) : 株主総利回り = 株価上昇率+配当利回り
*2 ROE (Return On Equity) : 自己資本利益率 = 当期純利益÷自己資本×100
*3 EPS (Earnings Per Share) : 1株当たり純利益 = 当期純利益÷発行済株式数
*4 PER (Price Earnings ratio) : 株価収益率 = 株価÷EPS

MUFGのチカラ –グローバルなポートフォリオ



*1　2025年度の管理計数

MUFGのチカラ –グループ総合力

国内 44%

各業界トップクラスのグループ会社を保有し さまざまなビジネス分野・金融機能をカバー

商業銀行
三菱UFJ銀行
三菱UFJエムット銀行 *1

証券
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
三菱UFJ eスマート証券
ウェルスナビ

信託・資産運用
三菱UFJ信託銀行
三菱UFJアセットマネジメント

クレジットカード・コンシューマーファイナンス
アコム
三菱UFJニコス

米州 35%

世界唯一のグローバルバンク同士の 強固なパートナーシップ

Morgan Stanley

商業銀行
krungsri กรุงศรี
Danamon
A member of MUFG
SECURITY BANK
VietinBank Nâng giá trị cuộc sống

ローン
SHRIRAM Finance
HOME CREDIT

デジタル
ascend money
mynt finance for all

高い成長を取り込むユニークなネットワーク

アジア 16%

*1 2026年度後半開業予定

MUFGのチカラ –モルガン・スタンレーとの戦略的提携

2008年
モルガン・スタンレーとの
戦略的資本提携開始



2010年
三菱UFJモルガン・スタンレー証券、
モルガン・スタンレーMUFG証券
誕生

2023年
モルガン・スタンレーとの
戦略的提携強化
「アライアンス2.0」

協働領域は投資銀行に留まらない

投資銀行 M&Aアドバイザリー等	**ウェルスマネジメント** アドバイザリー型モデル
市場 外国為替トレーディング 業務	**資産運用** 国内投信の米国販売 海外向け日本株
知見共有 AI・サイバーセキュリティ等	

MUFGの強み
- 国内・アジア顧客基盤
- グループ総合力

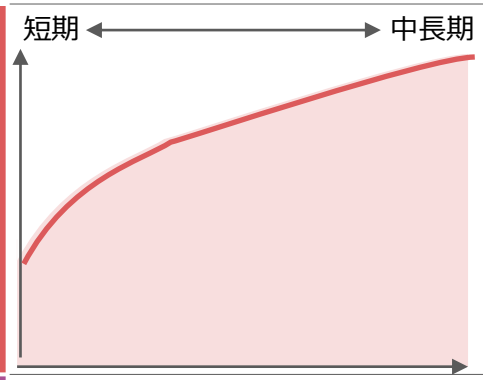
MSの強み
- 世界トップ級投資銀行
- プロダクト供給力

今後の協働の方向性
- **投資銀行・コモディティ領域協働の強化**
- **両社の強固な投資家ネットワーク活用**
- **先端分野のMS知見吸収**

MUFGのチカラ –それぞれのポートフォリオが描く成長曲線

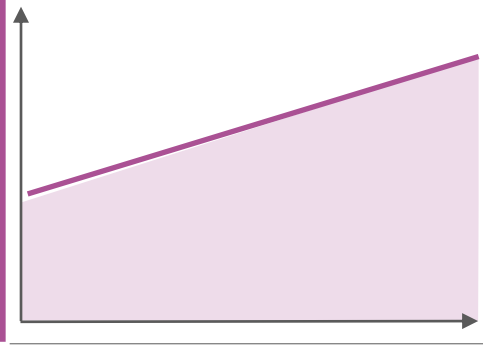
▼ 利益成長のイメージ

国内



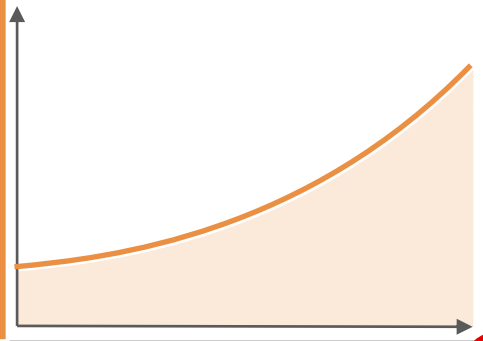
- **短期：**
  政策金利の上昇に伴い国内最大の顧客基盤が収益に大きく貢献
- **中長期：**
  事業共創と資産運用機能の強化を通じ、
  社会やお客さまの成長を創り、直接・間接金融両面で支援

米州



- **短期ー中長期：**
  投資銀行やプロジェクトファイナンス、O&D等の強みを有する領域や
  モルガン・スタンレーとの提携が、底堅い成長を実現

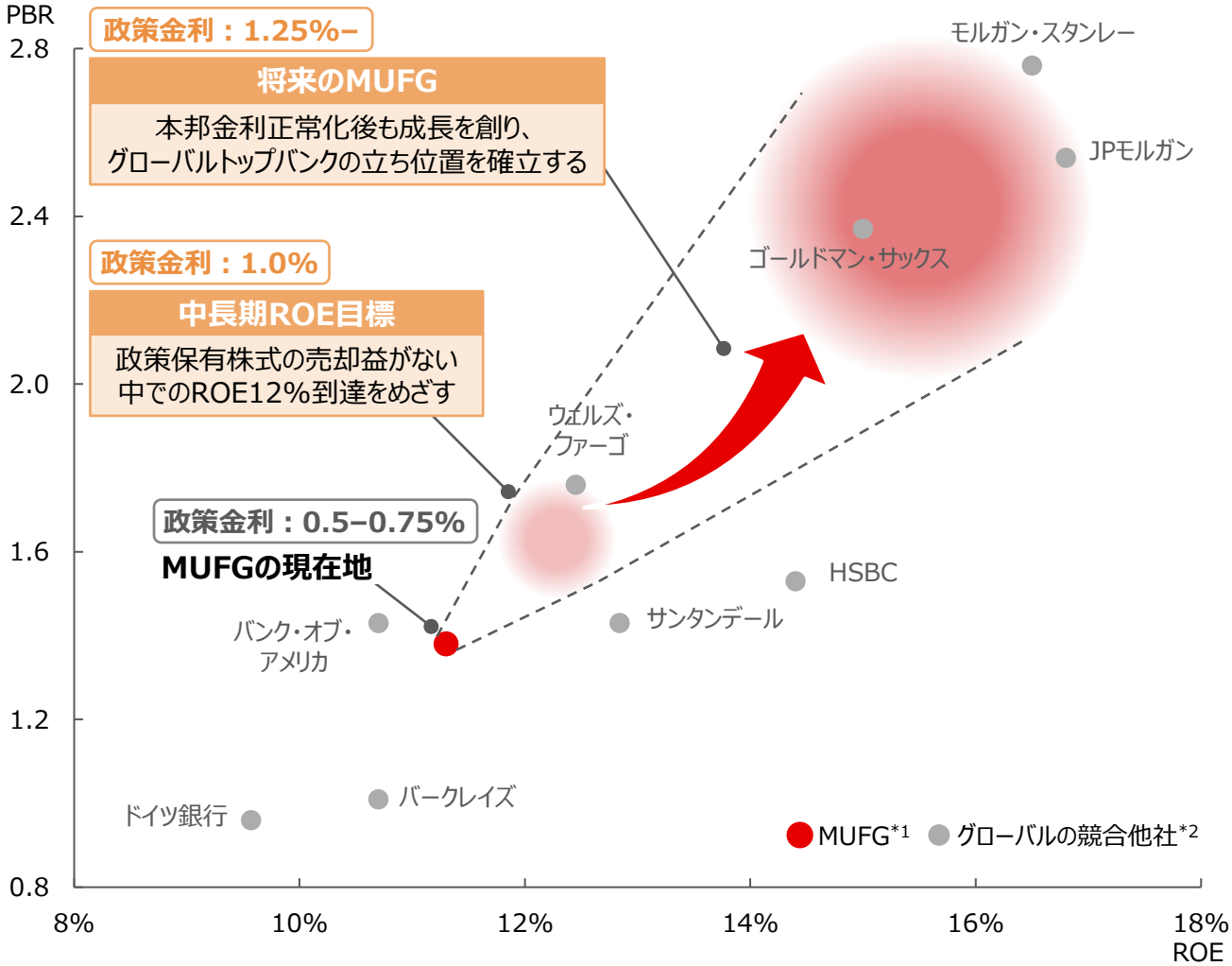
アジア



- **短期・中期：**
  各国の成長に応じてリソースを適切に配分し、出資先との協働や
  MUFGの経済圏の確立に注力
- **中長期：**
  MUFGの経済圏がユニークなシナジーを生み出し成長に大きく貢献

MUFGのチカラ –グローバルトップバンクへ

–ROE12%を突破し、率と額両面でグローバルトップバンクに伍する株主価値をめざす



G-SIBs*3	時価総額*4（兆円）
1. JPモルガン	138
2. バンク・オブ・アメリカ	59
3. HSBC	53
4. モルガン・スタンレー	46
5. RBC	43
6. ゴールドマン・サックス	42
7. MUFG	41
8. ウェルズ・ファーゴ	38
9. シティ	34
10. サンタンデール	32
11. トロント・ドミニオン	30
12. SMFG	26
13. UBS	24
14. みずほFG	21
15. BNPパリバ	18

*1 ROEは東証定義　*2 2025年12月末時点（出典）Bloomberg　*3 中国国有銀行（中国工商銀行、中国農業銀行、中国建設銀行、中国銀行）を除く
*4 2026年9月末時点（MUFGのみ自己株式を除く）（出典）Bloomberg

MUFGのチカラ –MUFGを表す数字

変化を柔軟に察知し、グループ総合力を発揮して社会やお客さまの課題解決に貢献する

⇒「世界が進むチカラになる。」

親会社株主純利益	
前年度実績	**2.4**兆円 →**3**年連続過去最高益更新
今年度目標	**2.7**兆円

今年度配当	
一株当たり	**96**円予想 →5年で約**3.4**倍
配当性向	**40**%程度

ROE	
中長期目標	**12**%程度

株価	
時価総額	約**41**兆円*1 →銀行セクター**1**位、東証TOP**5**

グローバルTop5入りへ

*1 2026年9月末時点（自己株式を除く） （出典）Bloomberg

世界が進むチカラになる。

変化の速い時代、全てのステークホルダーが課題を乗り越え、
持続可能な未来、新たなステージへと進もうとしています。
その思いを叶えるチカラになること、そのために全力を尽くすこと。

これが未来に向けて変わらない
MUFGの存在意義です。